



たべることは生きること。
 私たちにとって食べものはとても大切なもの。
 食べものはすべて生きものであり、
 その命をもらって私たちは生きています。
 私たちは感謝する心を大切にしていきます。

たべる たいせつ



今年は数年ぶりに実際に集まっての取り組みが再開されるとともに、新しい取り組みも生まれました。

帰ってきた！商品大交流会 (2023/11/25、2024/2/17)

今年は30周年記念として北ビワコホテルグラツィエ（長浜市）、びわ湖大津プリンスホテル（大津市）の2ヶ所で開催しました。両日ともに定員を大きく上回る申込みがありました。会場では試食・交流・即売が行われ、たくさんの家族連れやグループで賑わいました。



参加者の声

商品にどういった特徴があるのかなど、直接お聞きすることができ、パンフレットで見ているだけではわからないことが知れて理解が深まりました。

余剰となった産直ホムトンバナナで スイーツを開発

輸入後コープしがの物流センターで余剰となったホムトンバナナをピューレに加工。このバナナピューレをたっぷり使ったエコなスイーツを組合員と一緒に開発しました。



商品開発検討委員会のみなさん

ファーマーチャレンジ【援農】隊

人手不足など深刻な状況にある生産者をお手伝いして支援する取り組みを開始しました。組合員と役職員がコープしがの子会社、ハートコープしがの圃場でビニールハウスの中の石拾い、苗植え、雑草取り、収穫作業を行いました。



サマーキャンプ in 鳥取 (2023/8/5~6)

3年ぶりに鳥取県でのサマーキャンプを開催し、親子65名が参加しました。美奈牧場の自然の中で、産直生産者の大山乳業農協、鳥取県畜産農協と一緒に鳥取のお肉や乳製品を味わいながら、交流をしました。食べて・笑って・歌って・学んで、楽しい夏休みの思い出となりました。



バーベキュー

牛舎の見学

参加者の声

娘がキャンプから帰ってきたら、「おいしい牛乳作ってくれてるから、私も、残さず味わって飲む！」と言ってくれました。生産者の思いを知り、娘にも届いたようで、とてもうれしく思いました。

産直鳥取みんなのつながり和牛

「鳥取みんなのつながり和牛」は、食の未来を見据え、コープしがと鳥取県畜産農協、みんなの牧場が協力して実現した、お手頃価格の黒毛和種の牛肉です。安くて美味しい和牛肉を組合員にお届けしようと10年前から構想し、2022年から組合員の食卓にお届けできるようになりました。6ヶ月かけて様々な部位が楽しめる頒布会は、抽選となるほど大人気の企画となっています。



鳥取みんなのつながり和牛 初出荷の様子

利用者の声

今まで和牛は特別な時しか購入しませんでした。手頃に色々な部位を楽しめました。月1回の特別感が嬉しかったです。おいしいお肉が届くと献立を考えるテンションが上がります。

大人のたべる*たいせつオンライン企画 「地酒と湖魚を楽しむ夕べ」(2024/2/3)

食を通じて滋賀県の魅力を再確認する場となるよう、今回はじめて大人向けの企画としてオンラインで開催し、12組16名が参加しました。参加者には、ほろよいセットとして魚のゆりかご水田米こしひかりでつくったお酒と、琵琶湖八珍のひとつ「本もろこ煮」を事前にお届けし、地酒や琵琶湖八珍にまつわるお話をお聞きしながら、楽しく交流しました。



オンライン配信の様子

参加者の声

お酒が美味しくてよくなりました。漁業、農業、行政、そして酒造業に関わる方々の熱い想いにふれることができ、これからももっともっと「近江のたべもの」を大切にしていきたいと感じました。

滋賀県立大学「食育推進隊」 によるレシピ考案

2018年から、滋賀県立大学人間文化学部 生活栄養学科「食育推進隊」の学生のみなさんに、産直野菜を使ったレシピを考案いただいています。6年目となる2023年は、「産直ピーマン」を使ったレシピを商品案内書「コープしがマルシェ」で4月2回に紹介しました。



食育推進隊のみなさん

考案したレシピ